

武蔵篤彦展 -Trace of Afterimage- 開催のご案内

Atsuhiko MUSASHI exhibition "Trace of Afterimage"



ATSUHIKO MUSASHI EXHIBITION
TRACE OF AFTERIMAGE

2023.11/18(sat)-11/26(sum) close: 11/22(wed)

 **GALLERY HEPTAGON**
HEPTAGON WORKS GALLERY and LIVING

会期 ; 2023年11月18日(土)~11月26日(日)

時間 ; 12:00~18:00

休廊日 ; 11月22日(水)※11/23(祝・木)は開場

会場 ; Gallery Heptagon (ギャラリー・ヘプタゴン)

〒602-8175 京都市上京区下立売智恵光院西入中村町 523

TEL : 080-7583-3388 info@heptagonworks.com www.heptagonworks.com



この度、ギャラリーヘプタゴンでは武蔵篤彦の個展を開催いたします。

武蔵氏は京都精華大学で長く教鞭を執り、多くの優秀な卒業生を輩出してきました。教育者として学生からも慕われてきましたが、教育とともに作家活動も途切れることなく取り組んできました。彼の背中をみて芸術を学ぶ学生も多かったのではないのでしょうか。

彼が所属した版画専攻の武蔵ゼミは、通称リトゼミとも呼ばれていました。これは水と油の反発作用を利用するリトグラフを中心とした平版画技法からミクストメディアまでを探求する学生たちが集まる場所でした。彼自身リトグラフ、ウォータレスリトグラフ、ポリマー版画、コラグラフ、デジタルプリント、ペーパーワーク、ペインティングと多岐にわたる平面表現の可能性を拡張してきましたが、その中心にはリトグラフでの制作体験が重要になっていると言えるでしょう。

この展覧会では教え子でもあるアーティストの衣川泰典氏が石版画作品のプリンターとして協働し、約1年の月日をかけて17点の石版画制作に取り組みました。武蔵氏は「石版にドローイングのように自由に、多層的に描きたい」と重量感のある石版に向き合いました。彼は研磨された石版の上に解墨やクレヨンによる描画材料で筆跡を残します。

石版画では、この描画材料の痕跡に化学的処理を施すことで筆跡が石に焼き付きます。イメージと石が一体化し、何かを捉えようとする残像の軌跡を宿す物質となります。このような過程から出来上がったイメージが紙に写しとられます。しかし、描いたイメージと製版されたイメージのズレが生じることもしばしばあり、製版されたイメージに加筆や部分的に削る作業も取りいれました。

このようなやりとりによるトライアンドエラーを繰り返しながらも、ひとつひとつの図像を結実させました。この伸びやかな筆跡の背景をも想像することで、光と影が絡まりながら捕らえる筆跡となり武蔵氏の世界観として、より想像を巡らすことができるでしょう。

彼の作家活動の初期に制作された石版画作品と近年制作した石版画作品をセレクトしギャラリーに展示します。また新作3点を収納するポートフォリオ集も限定出版します。進行形の武蔵篤彦氏の眼差しが写しとられる石版画作品をご高覧いただければ幸いです。

今回のギャラリー・ヘプタゴンでの展覧会は、私にとって50回目の個展になりますが、石版画のみによる個展は初めての試みです。もともとは石版画に魅了されて制作活動を始めたわけですが、これまで絵画と版画（ポリマー版画、コラグラフ）の複合的な構成の展覧会が多かったため、集中的に石版画制作をすることはありませんでした。

一年前、美術家でリトグラファーの衣川泰典氏から石版画の刷りを担当してくれると言う提案があり、私自身の原点回帰の意味も含めて挑戦してみることにしました。試行錯誤を重ねた制作過程の中に、石版画ならではの表現を見出せたかと思います。（武蔵篤彦）

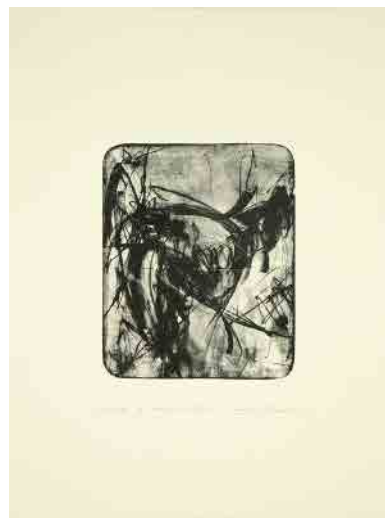
Work



1



2



3



4



5

写真 1.~5.
Trace of Afterimage / 2022'23 / 650×500mm / 石版画、油性インク、ハーネミュール

Work



6

写真6
Trace of Afterimage / 2023 / 650×500mm / 石版画、油性インク、ハーモニューレ

写真7
Trace of Afterimage / 2023 / 305×255×70mm / 石版石



7

Profile

武蔵篤彦 MUSASHI Atsuhiko

1952年 京都府生まれ
1977年 ワシントン大学美術学部卒業
1979年 サンフランシスコ・アート・インスティテュート大学院修了
京都精華大学名誉教授、日本版画協会会員、日本美術家連盟会員

【個展】

[京都]

DOT ギャラリー、 ギャラリーココ、 ギャラリー白川、 ギャラリー○△□、
アートスペースみつはし、 平安画廊、 アートゾーン神楽岡、 ギャラリー恵風、
京都精華大学サテライトスペース Demachi、 ギャラリーヒルゲート

[東京] ギャラリー・ユマニテ東京

[名古屋] ギャラリー・ユマニテ名古屋、 M.H.S. タナカギャラリー

[一宮] ギャラリー OH

[大阪] ギャラリー・プチボア、 ギャラリー HOT、 ギャラリー編・かのこ

[福岡] アートスペース漠

[大分] みさき画廊

[サンフランシスコ] ドン・ソーカー・コンテンポラリーアート

[ボーズマン] モンタナ大学ギャラリー

[イーストン] グロスマン・ギャラリー

[キャンベラ] オーストラリア国立大学ギャラリー

[エディンバラ] スコットランド・アートクラブ

【主なグループ展】

1990年 インターグラフィック '90 (ドイツ)
1993年 バルトバヴァン国際版画ビエンナーレ (インド)
1995年 京都市芸術新人賞受賞作家展'95 (京都市四条ギャラリー)
1999年 ぶどうの国の国際版画ビエンナーレ (山梨県立美術館)
1999年 スコットランド・アニュアル (アートクラブ賞、エディンバラ)
2000年 京都版画2000 (京都市美術館別館)
2001年 マキンググラフィカ (京都市美術館)
2004年 現代版画の潮流展 (町田市立国際版画美術館、松本市立美術館)
2007年 中華民国国際版画素描ビエンナーレ (台湾)
2008年 マキンググラフィカ (京都市美術館)
2009年～ CWAJ 現代版画展 (東京アメリカンクラブ)
2010年～ 日本版画協会 版画展 (東京都美術館)
2010年 Global Vision 展 (ルイジアナ、アメリカ)
2016年 日中現代版画交流展 -2016 深圳展 (中国版画博物館)
2019年 Kyoto Hanga 日本・オーストラリア国際版画展 (オーストラリア)

他、多数

武蔵篤彦ウェブサイト <http://ocean-art.jp/musashi/index.html>

